

3

永世不忘(永世不忘)人間観(人間観)の自生的近代性

Indigenous Modernity of the Yeongsebulmang View of Humanity

目次

- 1 研究の背景および目的
- 2 西洋の成長論的人間観
- 3 マズローの理論およびポストヒューマニズム
- 4 東洋の接化的人間観
- 5 相関的思惟とフラクタル構造
- 6 東西人間観の衝突
- 7 東西人間観の相克化
- 8 東学思想の人間観
- 9 リミナリティと自生的近代性
- 10 結論および示唆点

研究の背景および目的

本研究は東西洋の人間観の主要な伝統を比較・分析し、衝突と接点、そして東学思想における変換様相を考察することにより自生的近代性の意味を探ろうとする。

- 東西「人間観」の哲学的理解
- 思想的变化と現代的示唆点の導出

西洋の成長論的人間観-概念と特徴

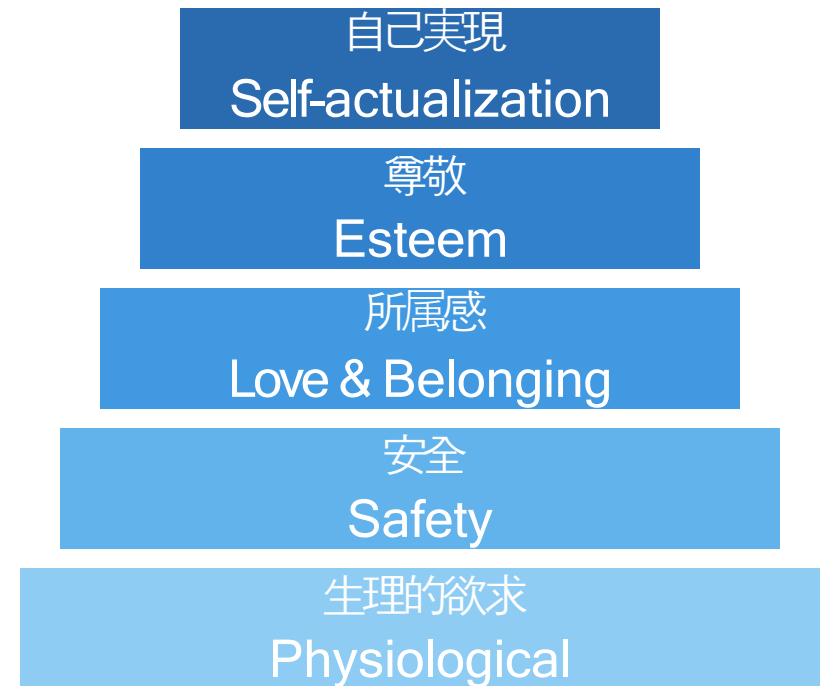
西洋の成長論的人間観は人間を自己実現と進化的発展を追求する存在として規定し、近代以降の技術発展と個人成長の基盤となった

- 人間を成長と自己実現を追求する存在として把握
- プラトンのイデア、プロメテウス神話、キリスト教原罪論から実存主義
- まて継承人間の欲望の肯定、個別性と自律性の重視
- 肯定的世界観と技術志向的近代性の追求

永世不忘の人間観の自生的近代性

西洋の成長論的人間観- マズローの理論とポストヒューマニズム

- マズローの欲求段階理論: 生理的欲求→安全→所属感→尊敬→自己実現
- 欲望の肯定: 欠乏動機(下位欲求)から成長動機(自己実現)へ
- ポストヒューマニズム: 第4次産業革命と連携した人間能力の拡張
- 人間と機械の共進化: 成長知能と自己実現の強調



東洋の接化的人間観-概念と特徴

- 東洋の接化的人間観は人間を天地との関係の中で把握し、相関的思惟に基づいて人間の役割と責任を強調する
 -
- 人間は天地と密接に連結された存在
- 陰陽五行、天地化育(化育)など宇宙
- の調和と循環を重視「誠(誠)」で
- 天地に応答、道徳的責務を強調

人間の位置:天地間の媒介者・参与者

東洋の接化的人間観-相関的思惟とフラクタル構造

- 相関的思惟(関係中心の思考)とフラクタル構造(部分=全体)
- 陰陽五行に基づく世界観-同一の構造が宇宙から人間まで反復される
- 伝統社会における全人的中庸(中庸)および全体性の強調
- 学問、芸術、日常生活全般に現れる人間観

主な研究者沈光鉉(フラクタル理論)、崔仁哲(認知心理学)、趙兢鎬(東洋心理学)、朴載柱(相関的思惟)などの現代的解釈の提示 永世不忘人間観の自生的近代性



陰陽五行基盤のフラクタル構造-部分と全体が同一のパターンを示す

近代東西人間観の衝突-共通の起源と相違点

- 三機能体系(reigion-military-economic)など両文化の共通の起源

西洋時間的(垂直的)世界観 東洋空間的(水平的)世界観 超越的唯一神中心 内在的天地関係

＞ 中心

＞

＞ 神の持続的介入と救済

＞ 隠れた神(Deus absconditus)

- 天地人(天地人)の解釈・構成の差異、超越と内在の対比

- 人間-神-自然関係の設定の根本的差異

近代東西人間観の相克化

西洋

- 唯一神思想、超越的実体論
- 階級構造の確立と宗教-政治-経済的分化
- 東西交流以降の各思想の弱点の深化および変容
- 創造主概念の差異: 持続的介入(西洋) vs 隠れた神(Deus absconditus、東洋)
- 三機能体系(宗教-軍事-経済)の東西共通の起源と差別化

東洋

- 相関的観念の硬直化
- 階級の固着化(両班-常民)

東学思想の永世不忘の人間観-侍天主と人 乃天

東学思想は自生的近代性を含んだ永世不忘人間観を提示し、伝統的人間観の限界を超える新たなパラダイムを提示する

- 侍天主(侍天主):天主を奉ずる、吾心即汝心(吾心即汝心):内的神性の強調、人乃天(人乃天):人間そのもの
- が天 司祭-信徒の位階の撤廃、平等主義的人間観の実現の追求
- 内的省察的倫理と小宇宙的人間観の確立
- 近代的社会改革と平等革命の思想的基盤の提供

リミナリティと自生的近代性

リミナリティ (Liminality)

境界または転換状況における存在状態－以前の状態から脱し新たな状態へ進入する過程

- リミナリティ概念を通じた人間観変化の解釈－天地人関係の再構成
- 東学を中心とした近代的転換の促進－侍天主と人乃天の実践社会的
 - ・思想的革新、新たな人間像の誕生－平等思想と共同体意識
- 聖－俗関係の再構成と未来志向性－地上天国と自生的近代化の模索

結論および示唆点

- 西洋-東洋人間観の比較を通じた近代性の再検討と、東学思想における自生的近代的人間観の意義を考察した。
- 西洋-東洋人間観の比較を通じた近代性の再検討
- 討 東学思想における自生的近代的人間観の意義
- 義 現代社会への適用可能性と限界

後続研究および討論課題の
提示